

【埼玉】「コンプライアンス(法令順守)、安全など運送会社としてやらなければならないことを当たり前にやる。その大切さを実感している」。幸和運輸(埼玉県坂戸市)の中村浩社長



はこう話す。昨年10月に有限会社から株式会社化し、11月から新本社事務所を開設。気持ちを新たに、年末の繁忙期を迎えた。幸和運輸は1988年の創業。中村氏は当時、自動

幸和運輸 中村 浩さん

車メーカー物流会社から独立し、要産業という梱包会社を経営しており、納品は営業用トラックに委託していた。10年前、「緑ナンバー取得による自社便運行」を目的に、幸和運輸を買収。しかし、「負債を抱えた会社を再生させるのは大変な時、「決まりを守る」こと

法令順守、大切さ実感

苦勞で、胃に穴が開くような毎日だった」と振り返る。自動車部品、エクステリア関連の輸送が主体だったが、川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)を元請けとする菓子メーカーの輸送を受託し、冷凍輸送にシフト。トラックボディーの知

株式会社に移行 信用高める

始まるに当たって、荷主や協力会社との取引の信用性を高めるため、株式会社に移行した。本社事務所も移転・新装し、HPの立ち上げも急ぐ。中村氏は「運輸安全マネジメントをはじめ、



運送会社に求められる社会的要請の一つひとつの意味が分かってきた。仕事の案件に答えられるよう備え、5年後にはさらにプラスアルファを目指す」と話す。

(石井 麻里)